

【NEWS RELEASE】

2026 年 10 月 30 日

各 位

SBI ホールディングス株式会社
株式会社三井住友フィナンシャルグループステーブルコイン等を活用した新たな金融サービスの共同検討に関する
資本業務提携について

SBI ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「SBIH」）、および株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、グループを総称して「SMBC グループ」）は本日、ステーブルコイン等を活用した新たな金融サービスの共同検討に向けた資本業務提携契約を締結（以下「本提携」）いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本提携の背景と意義

現在グローバル市場において、ステーブルコインやトークン化現実資産（リアルワールドアセット：RWA）の市場が急速に拡大しており、金融資産の発行・流通・決済をブロックチェーン上で完結させる「オンチェーン金融」が、次世代の金融市場インフラとして注目を集めています。SBI グループは、このような潮流のもと、Startale Group と共同開発し、SBI 新生信託銀行株式会社が発行する信託型円建てステーブルコイン「JPYSC」について、2026 年より SBI VC トレード株式会社にて提供を開始するなど、オンチェーン金融の基盤づくりを進めています。また、SBI グループは、JPYSC の普及促進および利用機会の創出を目的として、Startale Group との合弁会社として SBI Startale Marketing 株式会社（以下「SBI Startale Marketing」）を設立しております。

SBI Startale Marketing は、SBI グループが有する金融事業基盤と、Startale Group が有するブロックチェーン技術およびプロダクト開発の知見を組み合わせ、JPYSC の活用場面の企画・検討、関係事業者との連携、調査・研究および実証的な取組み等を通じて、将来的なサービス化・事業化の可能性を検証してまいります。

2. 本提携の概要

ステーブルコイン等の新たな技術を金融サービスに活用していくためには、決済・送金をはじめとする具体的な利用場面とともに、法令・制度面、技術面、セキュリティ面、事業性等について幅広く検討する必要があります。SBI グループと SMBC グループは、本提携により、双方がそれぞれ有するオンチェーン技術および金融領域に関する知見を持ち寄り、関係法令などの順守を前提として、JPYSC をはじめとしたステーブルコインの活用可能性に関する調査・研究、ユースケースの検討および実証的な取組みを進め、将来的な金融サービスの創出を目指します。

また、SBIH および SMBC グループは、SMBC グループによる SBI Startale Marketing への 5% の資本参加について合意しました。

3. 今後の展望

今後は、JPYSC をはじめとするステーブルコインの活用可能性について、調査・研究、具体的なユースケースおよび実証の可能性について検討します。これらの取組みを通じて、金融資産の取引や決済等における新たなサービスの可能性を検証し、将来的な事業化を検討してまいります。

4. 各社の概要

名称	SBI Startale Marketing 株式会社
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 北尾 吉孝
事業内容	JPYSC の普及促進、法人・金融機関等における利用機会の創出、活用場面の企画・検討、関係事業者との連携、調査・研究および実証的な取組み等

名称	SBI ホールディングス株式会社
代表者の役職・氏名	代表取締役 会長兼社長 北尾 吉孝
事業内容	株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等

名称	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
代表者の役職・氏名	執行役社長 グループ CEO 中島 達
事業内容	銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに附帯する業務等

(参考) Startale Group について

Startale Group Pte. Ltd. は、シンガポールに本社を置く日本発のグローバルフィンテック企業です。「世界をオンチェーン化することで、次の文明を創る」をミッションに掲げ、ブロックチェーン基盤、ステーブルコイン、アプリケーション等の開発・提供に取り組んでいます。SBI グループとは、円建てステーブルコイン「JPYSC」やトークン化資産の取引基盤「Strium」の開発等で協業しているほか、ソニーグループとはブロックチェーン「Soneium」を共同開発しています。

以 上